

直売所を拠点としたむらづくり

はやま 早馬集落営農組合（南大隅町）

背 景

南大隅町早馬地区は、中心部より南東部の標高300mの台地に位置し、稲作を中心とした農村地域である。また、少子高齢化が進んでおり、高齢化率が57%と高い。

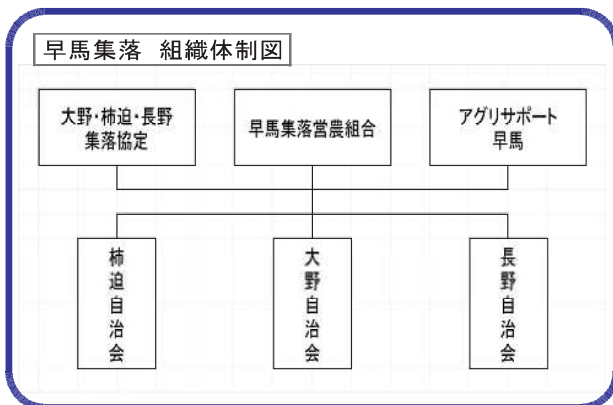
同地区では、担い手の確保・育成や地域の活性化を図るため、平成10年度から農地基盤整備事業により水田の基盤整備を進め、平成12年には、近隣3集落で中山間地域等直接支払制度の協定を締結、「早馬集落営農組合」を設立し、直売所の開設、交付金を活用した話し合い活動の実施、戦略作物の導入等地域の活性化に取り組んできた。



直売所「早馬元気市」

② 多面的機能支払交付金への取り組み

平成27年度より多面的機能支払交付金の取組を開始した。また「ふるさと探検隊」ワークショップを実施し、地域の課題や問題点、将来像等についての話し合い活動に取り組んでいる。



活 動 内 容

① 直売所「早馬元気市」の開設

平成21年に直売所「早馬元気市」を開設し、地域で生産される農産物の販売や地域内外への情報発信等により地域内の農業生産活動の活性化を図っている。



ワークショップの状況

③ 戦略作物導入による地域活性化

高齢化により所有者が耕作できなくなった農地を集落営農組織で借り上げ、戦略作物として「トイモガラ」を共同作業により栽培し、直売所等で販売を行っている。

成

果

- ① 直売所が地域住民の語らいの場となり、情報の共有化により地域の連帯感が深まっている。住民は自らの地域内で農産物を販売する機会ができたことで、物づくりに対する意欲が増している。また、直売所周辺の用地に「ブルーベリー」の植栽を行い、収穫を迎える時期には観光農園を開設し、直売所と連携して集客を図る計画である。



ブルーベリーの植栽状況

- ② 「ふるさと探検隊」ワークショップに取り組んだ結果、地域の課題や問題点をみんなで認識することができ、これからの地域のあり方を考える良い機会となった。また、古い家屋が実は歴史上貴重な古民家であった等、新たな発見も見られた。また、ワークショップで提案されたフラワーロードの整備についても計画的に進められている。
- ③ 戦略作物として導入を行った「トイモガラ」の共同作業の取組は、今後の地域づくりの可能性を見出すことができた。今後は「トイモガラ」の料理レシピを作成して消費拡大に向けた活動を行う計画である。

今 後 の 展 望

直売所を地域内における地域活性化の拠点として、都市農村交流を進めていきたい。まずは県外からの修学旅行生の受け入れ等グリーン・ツーリズムや、町外への情報発信による定年帰農者等の定住、二地域居住など、地域内における交流人口を増大し、町内居住者の増加を図ることとしている。

また、戦略作物「トイモガラ」の生産のほか、新たな戦略作物の選定・導入、ブルーベリー等の観光農園の開設等、集落総ぐるみの取組みなどを含め、地域の農業生産活動の維持・継続・活性化につなげていきたい。

地 区 情 報

構成集落

大野，柿迫，長野（3集落）

人口構成

- (1) 総人口94人
(65歳以上の割合57%)
- (2) 総世帯数52戸
(うち農家戸数32戸)

総土地面積：120ha

耕地面積：35ha

主要作物：水稲，牧草，自然薯，甘藷

問い合わせ先

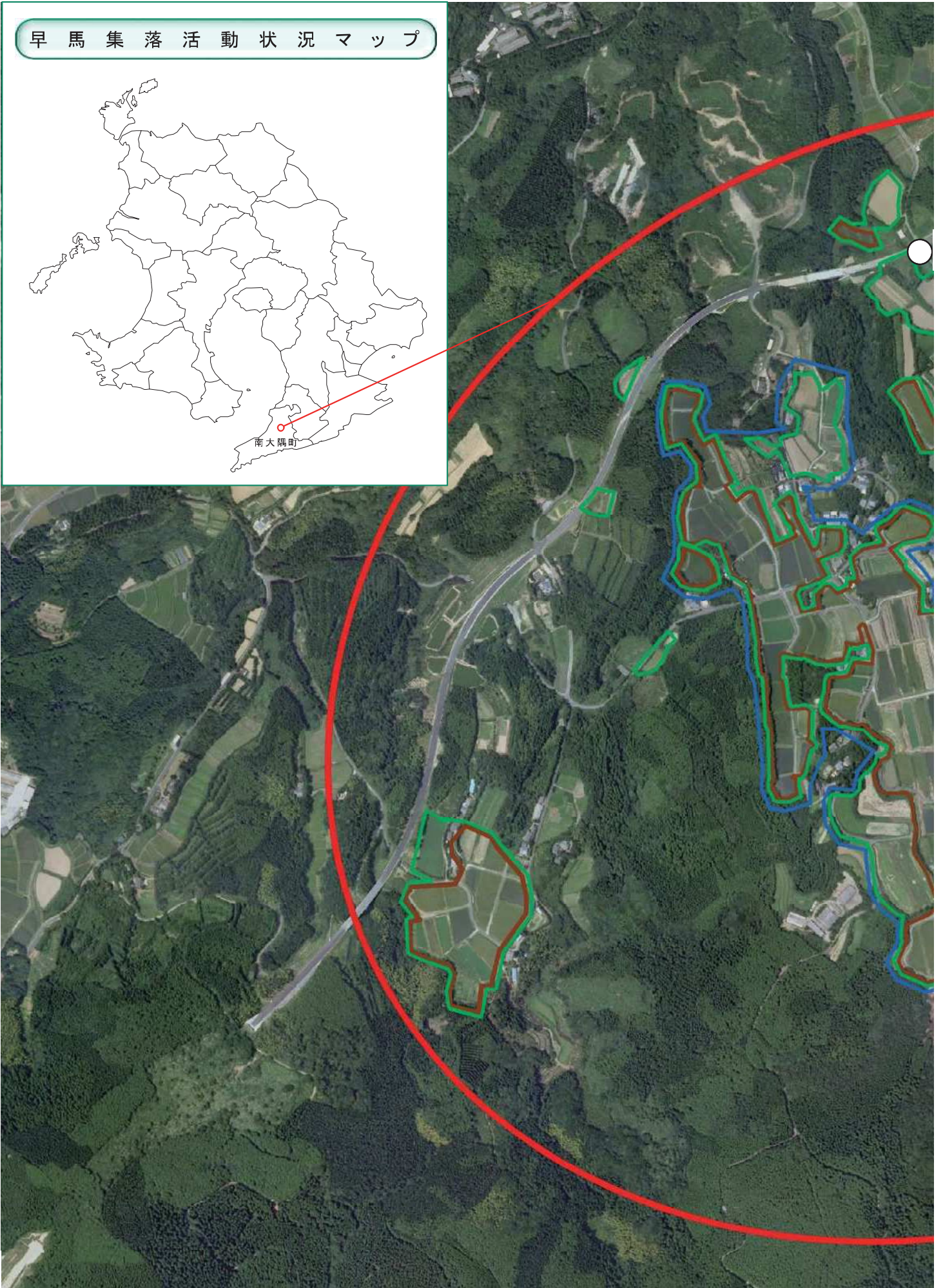
南大隅町経済課

電話番号：0994(24)3111(代)

大隅地域振興局農林水産部農政普及課





電話番号：0994(52)2139

早馬集落活動状況マップ



早馬元気市



凡例		事業費
	むらづくり活動地区	
	水土里サークル活動実施地区	2百万円
	中山間地域等直接支払制度活用地区	4百万円
	農地中間管理事業実施地区	3百万円

ひとのいたみがわかちあえる人情豊かなむらづくり

はるまき 春牧集落（屋久島町）

背 景

春牧地区は、屋久島のほぼ東部に位置し、海岸線は約2キロ、海岸から山麓までは約3キロあり、全体的にゆるやかな傾斜地で起伏も少なく、平坦地の多い集落となっている。

また、主要登山道や観光地の入口にあるため、観光振興のうえで大変重要な集落でもある。

海岸部には春田浜があり、シーズンになると家族連れや観光客で賑わう。

一方で、過疎・高齢化・少子化により地域の活力が失われつつあり、後継者育成が地域の課題となっている。

また、駐車スペースの確保や祭り会場への案内板設置など、区民総出で来場者の利便性の向上に努めている。



とび魚まつりの様子（火起こし体験）

活 動 内 容

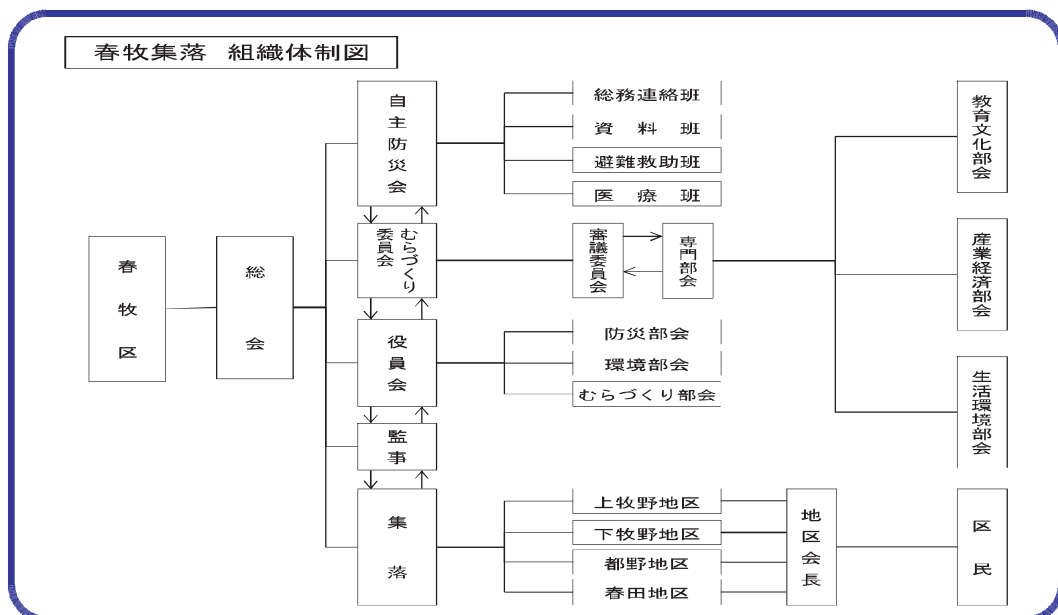
① 春牧とび魚まつりの開催

春牧地区は、飛び魚漁を主とした漁師が多く住む町であることから、地域活性化を目的とした「とび魚まつり」を毎年秋に開催している。飛び魚の炭火焼きの無料配布や、地元の農産物・海産物の販売、縄文時代の火起こし体験など趣向を凝らした出し物を行っている。

② ボランティア団体の取組

弱者支援を目的とした「屋久立隊」^{やくだちたい}は、独居老人等の庭の草刈りや植木の選定など希望に応じて様々な取組を行っている。

「横峯縄文クラブ」は、縄文時代後期の遺跡である横峯遺跡を保全・保護するために様々な取組を行っている。最近では、竪穴式住居の復元を行っている。



「春牧里めぐりの会」は、屋久島の観光地は山だけでなく、里地の魅力も併せて伝えたいという思いから、春牧地区の名所、史跡、産業等を観光客等に広くPRする活動を行っている。



竪穴式住居の復元

③ 環境保全対策

多面的機能支払交付金を活用し、地域内の農地等の保安全管理を行い、農地・水・環境保全の向上を図っている。

また、地域内の遊休地を借用し、焼酎用甘藷を栽培し、遊休地の解消及び地元産業の振興に努めている。

成 果

- ① 地域の特徴を活かし、工夫を凝らした催し物などの取り組みの結果、毎年2,000人の参加者が訪れ、賑わいをみせている。とび魚祭りは、春牧地区の魅力発信や、地域外住民との大切な交流の機会となっている。
- ② ボランティア団体の活動により、地域の魅力を再発見することができた。また、活動を情報発信することで、春牧地区の元気度を広くPRすることができた。
- ③ 多面的機能支払交付金を活用し、水路や農道の管理等を行うことにより、参加者一人ひとりが、地域を守る意識が芽生えてきている。また、集落活動を行うことにより、地域のコミュニティ力が高まってきている。



環境保全活動（鹿防護柵補修）

今 後 の 展 望

今後、高齢化が進行し、様々な取組の中心的担い手不足が懸念される。このため、話し合い活動を進め、地域一体となって取り組んでいく仕組みづくりが重要となってくる。広報誌やホームページを活用し、地域内外に活動状況を発信する取り組みも継続させたい。

集落活動を通じ、「自分の地域は、自分で守る」という意識を芽生えさせ、「人のいたみがわかちあえる人情豊かなむらづくり」をスローガンに元気のあるまちづくりを進めて行きたい。

地 区 情 報

構成集落

春牧集落(1集落)

人口構成

- (1) 総人口922人
(65歳以上の割合28.7%)
- (2) 総世帯数466戸
(うち農家戸数30戸)

総土地面積：455ha

耕地面積：127ha

主要作物：タンカン、茶、甘藷等

問い合わせ先

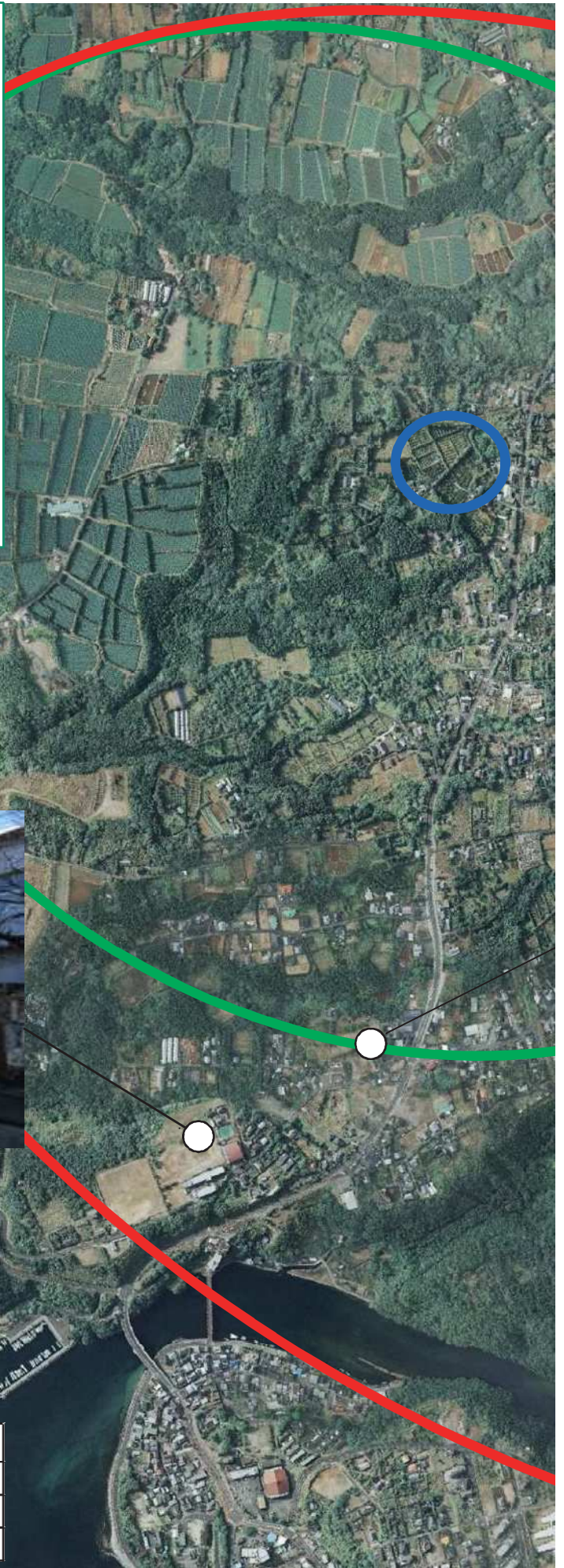
屋久島町農林水産課

電話番号：0997(43)5900(代)

熊毛支庁農林水産部農政普及課




電話番号：0997(27)0044

春 牧 集 落 活 動 状 況 マ ッ プ



屋久島町立安房中学校



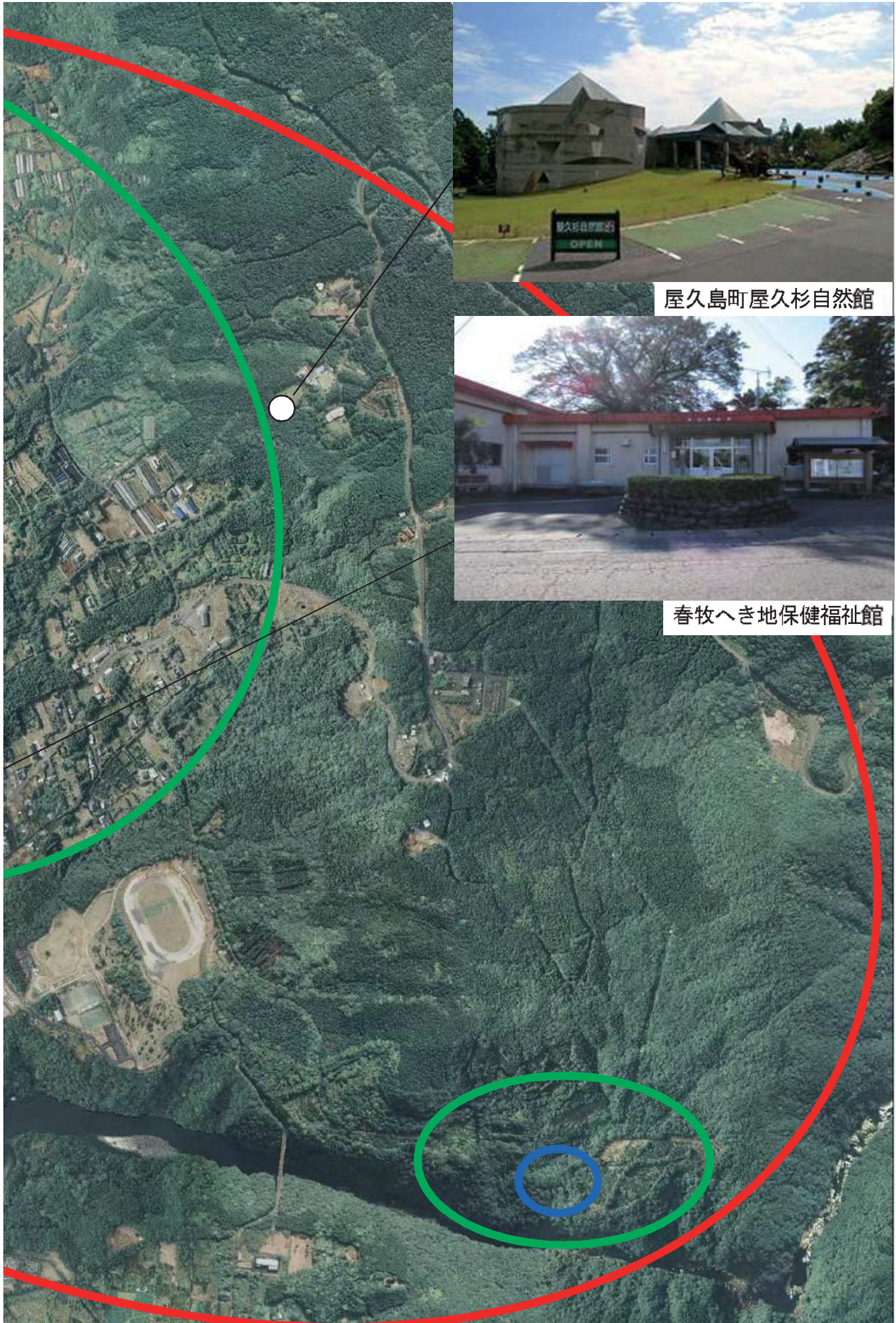
凡例	事業費
 むらづくり活動地区	
 水土里サークル活動実施地区	2百万円
 農地中間管理事業実施地区	—



屋久島町屋久杉自然館



春牧へき地保健福祉館



小さな塾の元気なむらづくり

せりかく
瀬利覚集落（知名町）

背 景

瀬利覚集落は、知名町で2番目の人口を有しているが、近年人口減少が続く中、子どもたちの数も減少し、集落の絆が薄れつつあり、行事等の運営が厳しい状況にある。

そのような状況の中、集落の長老たちが集まり、集落の自立・創造的な活動と島の宝（自然・文化等）を未来の子どもたちに残し伝えるため、ファングル塾を設立した。（ファングルは方言で「頑固」・「意地っ張り」の意）



移動式屋台

活 動 内 容

① やさい市

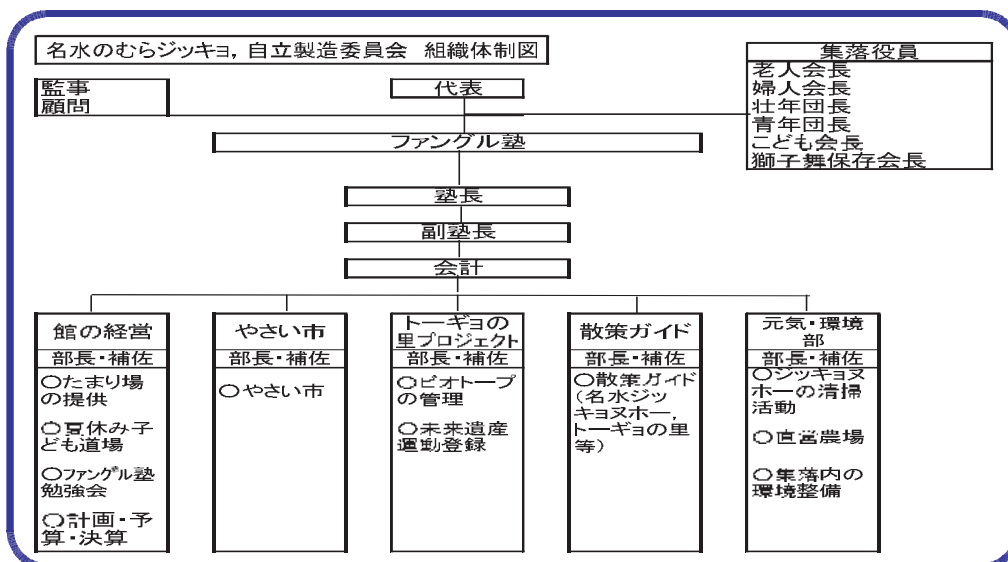
集落では、家庭菜園をしている者が多く、野菜は知り合いにあげてもなお余ってしまう。このような野菜を有効活用するため、ファングル塾では、毎週水曜日に「やさい市」を開催している。また、集落内の隅々で販売出来るよう移動式屋台を導入した。

② 夏休み子ども道場

ファングルの館に集落の子どもたちを集め、一緒に夏休みの宿題をしながら集落の昔話や、昔の生活の話、指笛、竹細工等を教え「集落の宝」を一緒に学ぶ活動を行っている。

③ 川の清掃

集落の大事な宝である「ジッキョ」ヌホー（平成の名川百選）の清掃活動を実施し、子や孫たちへ自然を残す活動を行っている。



④ トーギョ（闘魚）復活プロジェクト

島固有の在来種であるトーギョは絶滅の危機に瀕している。次世代に残すため、平成26年度から集落内に繁殖用のピオトープを設け、飼育している。



絶滅危惧種のトーギョ

成 果

① やさい市は53回開催（1128）し、売上は612千円となった。売る場所を提供することで、高齢者の生きがいがづくりに寄与している。また、ファングル塾直営農場で落花生等の栽培を始め、塾の運営資金を確保するとともに、やさい市の取扱品日数を増やしたことで、市の賑わいに一役かっている。

② 夏休み子ども道場は、11名の小学生が参加した。前半は夏休みの宿題を子どもたち同士で取り組みながら、後半は集落の長老達によるジッキョヌホーや集落の昔話を聞くことで、子どもたちの地域伝統を守る心を育てている。また、職業観を身につけられるように、仕事の話をする機会を設けている。



集落の昔話を伝える様子

③ 川の清掃は平成28年度11回実施した。集落の本仕活動とは別に、川の藻とり作業を実施することで、優れた景観と水質を後世に残すことに寄与している。

④ ファングル塾で増殖させたトーギョ（闘魚）145匹を島内の学校等へ寄贈した。絶滅危惧種の保護のみならず、子どもたちの環境教育に寄与している。

今後の展望

瀬利覚集落は小組合が17もある大きな集落である。本活動を集落全域に波及させるため、今後、参加者を増やす取り組みが必要である。

また、本取組を継続していくため、島内外から講師を招いて勉強会を開催している。その中で、日本ユネスコ協会が実施している未来遺産登録に向けた活動を強化していく予定である。

地区情報

構成集落

瀬利覚集落（1集落）

人口構成

- (1) 総人口751人
(65歳以上の割合33.38%)
- (2) 総世帯数324戸
(うち農家戸数63戸)

総土地面積：522.7ha

耕地面積：146.8ha

主要作物：ばれいしょ

問い合わせ先

知名町農林課

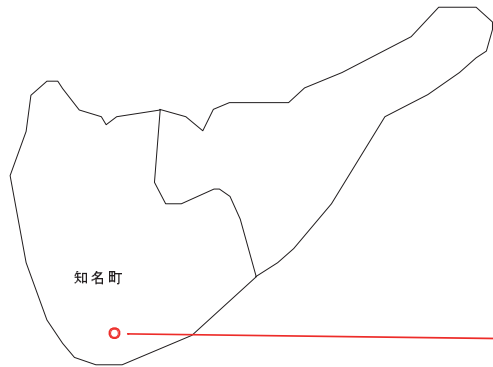
電話番号：0997(84)3164

大島支庁農林水産部農政普及課

電話番号：0997(57)7265

瀬利覚集落活動状況マップ

沖永良部



ジッキョヌホー清掃活動



※人・農地プラン作成地区は、当むらづくり活動地区をすべて含みます。